

病院整備計画の公募審査に関する質問票

- 黄色着色セルに入力してください。
※「担当者名」「メールアドレス」「回答」行に入力してください。
- 今回頂いた回答は委員に提供し、後日会議HPIに掲載します。
※担当者名とメールアドレスは非公表です。

保健医療圏	東部
応募医療機関名	春日部厚生病院
担当者名	
メールアドレス	

委員名	応募医療機関名	質問	回答
1 宗廣委員	春日部厚生病院	当院の退院支援看護師に聞くと、回復期リハビリ病院への転院はスムーズにいくとのことですが、今回のプレゼンテーションで、回復期リハの申請が複数の施設から上がっているのを聞いて、自施設での申請数はそのままの数が必要だと考えていますか。	来年度から心臓リハビリを開始する予定で居りますが、この種のリハビリを行っている回復期リハビリテーション病棟は現在の所近隣病院には見当たりません。一方、周辺急性期病院から、心臓リハビリの要望がたくさんまいっておりますので、需要は大変大きいことが予想されます。 また、当院では急性期一般病棟の救急受け入れが2年前の5倍に増加しており、そのうちのほとんどが高齢者で、急性期治療を行った後、リハビリが必要な例が多く、現在の回復期病院入院患者の約半数が院内の急性期一般病棟からの転棟患者が占めて居ります。既存疾患での患者受入だけでも不足している回復期リハビリテーション病棟であり、更に地域で遅れている回復期リハビリテーション病棟での心臓リハビリ患者の積極的受入を当院で進めていることを考慮すると、周辺に回復期リハを申請する病院が増加したとしても、当院の申請数6床はまだ十分に必要数と考えます。
2 折原委員	春日部厚生病院	病床利用率が高い中、病院建築に伴う病床の減少は、患者の方々に影響ないのでしょうか。	隣地に新病院を建築した上で、患者移動を行い既存病院の取り壊しとなりますので、病床を一時的にも削減することなく新病院開設の計画としております。 患者様の受入については現状の機能・規模を変わらず維持していきますので、縮小など患者様や近隣医療機関様へご迷惑をおかけするような影響はございません。
3 原直委員	春日部厚生病院	地域包括ケア病床53床について：地域包括ケア病棟を担うにあたっては、救急受入機能（誤嚥性肺炎や骨折等の受入れ）の充実を目指していただけるの解釈でよろしいか。	現在でも先進的医療が直ちに必要と判断される救急搬送患者さんは、当方で転院搬送先を探して転院搬送させて頂いており、当院が受入れている救急患者さんは、ほとんどすべて誤嚥性肺炎、脱水、体動困難、大腿骨骨折などのいわゆるサブアキュートの直ちに先進的治療を要しない患者さんばかりです。しかしながら満床のため救急受け入れを断らざるを得ない状況が続いて居ります。 今回の増床することで、これらの患者層の受入もスムーズとなりさらに地域に貢献ができるようになると考えて居ります。
4 岡村委員	春日部厚生病院	ケアワーカーの新規採用に関する具体的策はありますか。	本計画では看護補助（ケアワーカー）として6名の増員を予定しております。 地域を首都圏にこだわらず全国を対象に新卒者の募集を行うこと、無資格者への介護福祉士など資格取得制度の活用、外国人の特定技能採用の導入などいくつかの施策を検討しております。
5 田中委員	春日部厚生病院	改修工事の際、一時的に受入可能病床が減少すると思われそうですが、現に入院している方や救急患者への対応は、どのように考慮されていますか？	隣地に新病院を建築した上で、患者移動を行い既存病院の取り壊しとなりますので、病床を一時的にも削減することなく新病院開設の計画としております。 患者様の受入については現状の機能・規模を変わらず維持していきますので、縮小など患者様や近隣医療機関様へご迷惑をおかけするような影響はございません。